

第53期報告書

2021年3月1日 ▶ 2022年2月28日



天満屋ハピーズ総社溝口店(岡山県総社市)



天満屋ハピータウンリブ総社店(岡山県総社市)



天満屋ハピータウン岡北店(岡山市北区)



天満屋ハピーズ小田中店(岡山県津山市)

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第53期(2021年3月1日から2022年2月28日まで)が終了いたしましたので、ここに事業の概況についてご報告申し上げます。

1. 事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により断続的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されるなど厳しい状況が続きました。ワクチン接種率の上昇に伴い新規感染者数が減少し、9月以降、宣言等が順次解除されたことから、経済活動の正常化による景気の持ち直しが期待されたものの、新たな変異株による感染拡大を受け、再びまん延防止等重点措置が発出されるなど、先行きは依然不透明な状況が続きました。

小売業界におきましては、コロナ禍における消費行動変化により内食需要の高まりはあるものの陰りもみられました。また、生活必需品以外の衣料品や生活用品は、ネット通販の拡大、需要の縮小や休業および営業時間短縮による販売機会が減少するなど厳しい状況が続きました。

こうしたなか、当社グループは、コロナ禍により常態化した新たな生活様式への変化対応を最重点に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は、671億27百万円(前年度比3.4%減)、営業利益は21億47百万円(同6.4%減)、経常利益は24億56百万円(同3.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、10億55百万円(同32.2%増)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業につきましては、大型店舗の休業・時短営業に伴う客数減少や前年の巣ごもり需要の反動を受け、衣料品・生活用品の売上回復の遅れや食料品売上の伸び悩みなど依然として厳しい状況が続きました。

こうしたなか、お客様の「安全安心かつ短時間」のお買物ニーズに対応するため、キャッシュレス決済の推進、取扱金券の電子化、ネット販売の拡大および清潔な店舗環境の整備などに努めてまいりました。あわせて、コロナ禍における生活応援として、スーパーハッピープライス商品数の増加によるEDLP(低価格戦略)の強化やEdy付きハッピーカードの新販促、地元企業と連携した販促およびSNSを活用した販促に取り組むほか、業務のデジタル化に



取締役社長 野口 重明

よる生産性の更なる向上や省エネ機器の拡大など環境に配慮した店づくりを通じて働き方改革や環境問題に取り組み、激変する事業環境において迅速に対応できる体制の構築を進めてまいりました。

また、3月に岡南店(岡山市南区)の食料品売場の改装および複合商業施設「アクロスプラザ岡南」の一部開業、4月に岡輝店(岡山市北区)、9月に老松店(岡山県倉敷市)を全面改装するなど既存店舗の活性化にも注力してまいりました。さらに、7月には府中天満屋(広島県府中市)を全面改装し、2階に府中市が運営する若者、女性、子育て世代をはじめとする幅広い世代を対象とした施設の「i-coreFUCHU(いこーれふちゅう)」が開設されるなど、府中市と協働によるまちづくりを推進することにより、地域の活性化に取り組みました。加えて、株式会社天満屋および株式会社セブン&アイ・ホールディングスとの業務提携面では、3月に天満屋倉敷店の食料品売場の一部承継オープン、6月より26店舗にセブン銀行ATMを増設するなど取り組みを深耕しました。

この結果、当連結会計年度の小売事業の売上高は、589億77百万円(前年度比3.6%減)となりました。

(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。また、飲食事業におきましては、コロナ禍に対応できる営業体制の継続に努めたことと前年の反動により売上は回復基調と

トピックス

なりました。

この結果、当連結会計年度の小売周辺事業の売上高は、50億61百万円(前年度比3.2%減)となりました。

2. 対処すべき課題

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の効果による景気の持ち直しに期待が寄せられるものの、感染再拡大、原材料価格および原油価格の高騰による下振れリスクに加えて、緊迫する世界情勢の地政学的リスクなど依然として先行き不透明な厳しい経営環境が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、このような厳しい環境のなかで、常態化した新たな生活様式への変化対応を最重点に取り組むとともに危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも注力してまいります。

小売事業につきましては、新たな生活様式が浸透するなか、短時間や非接触でのお買物ニーズへの対応として、スマートレジートの導入やキャッシュレス決済の推進、ネット販売の拡大に努めてまいります。また、清潔な店舗環境の整備を継続し感染防止策を徹底するとともに、コロナ禍における生活応援として、スーパーハッピープライス商品数増によるEDLP(低価格戦略)の強化やシンプルで分かりやすい曜日販促およびEdy付きハッピーカードの新販促に取り組んでまいります。また、2022年3月に総社溝口店(岡山県総社市)の全面改装、高梁店(岡山県高梁市)にホームファニングストアの「ニトリ」を導入、岡南店(岡山市南区)の第二期改装として駐車場の「アクロスプラザ岡南」に「ホームセンタータイム」の開業、4月に岡南店本館において生活雑貨専門店「ロフト」を導入するなど既存店舗の活性化を進めるほか、株式会社天満屋および株式会社セブン&アイ・ホールディングスとの業務提携も深耕してまいります。さらに、プラスチック使用量の削減や太陽光パネルの設置など環境に配慮した取組み、地域社会との協働による地域の活性化、当社が認定を受ける「くるみん」や「健康経営優良法人」に基づく働きやすい職場環境づくりを進めるなど持続可能性社会の実現を目指してまいります。

小売周辺事業につきましては、品質管理と衛生管理を一層強化するとともに、多様なニーズに対応し、商品開発力の強化や生産性の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年5月

「天満屋ハッピーズ老松店」改装オープン



2021年9月25日に老松店(倉敷市)を改装オープンいたしました。地域の皆様に、鮮度の高い地元食材の販売のほか、「国産原料」「減塩」など健康に配慮した商品や「個食」「適量」商品の充実による食を通じた豊かな生活を提供し、お客様の毎日の生活をさらに豊かにできるよう取り組んでまいります。

太陽光パネル設置による再生可能エネルギーの活用



11店舗に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーにより当社使用電力を賄っています。今後、太陽光パネル設置店舗数の増加や、既存店舗への追加設置の取り組みを推進してまいります。

業績ハイライト

■ 事業セグメントの売上高

(単位:百万円)

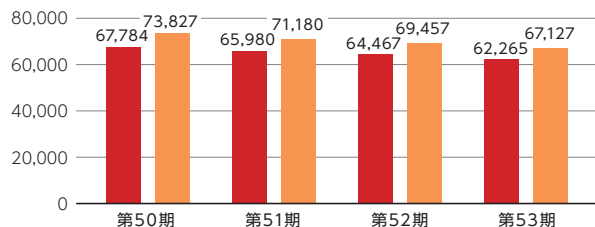
事業セグメントの名称	2020年度		2021年度 (当連結会計年度)		前年度比 増減額 (△は減)	前年度比 増減率 (△は減)	
	金額	構成比	金額	構成比			
小売事業	食料品	48,100	72.5%	46,985	73.4%	△ 1,114	△ 2.3
	生活用品	6,381	9.6	6,122	9.6	△ 259	△ 4.1
	衣料品	6,591	9.9	5,737	8.9	△ 854	△ 13.0
	その他	84	0.1	132	0.2	47	55.8
	小計	61,158	92.1	58,977	92.1	△ 2,181	△ 3.6
小売周辺事業	5,227	7.9	5,061	7.9	△ 165	△ 3.2	
合計	66,385	100.0	64,039	100.0	△ 2,346	△ 3.5	

(注)2021年度より、生活用品部門および衣料品部門の集計品目を変更しており、2020年度の数値を変更後の部門に組み替えて表示しております。

■ 単体 ■ 連結

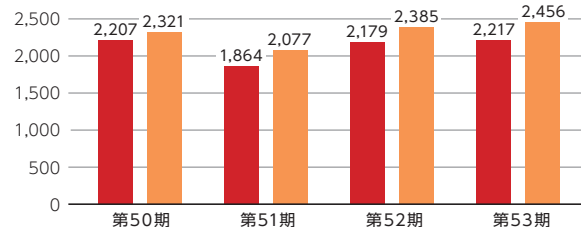
営業収益(売上高および営業収入)

(単位:百万円)



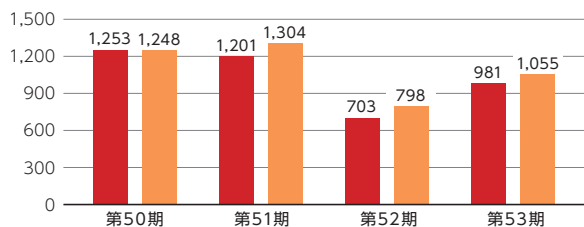
経常利益

(単位:百万円)



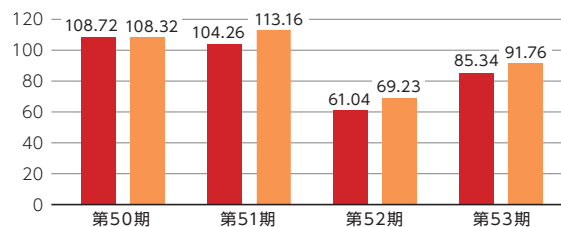
当期純利益

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



(注)連結は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示します。

連結財務諸表(要約)

■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2021年2月28日現在	2022年2月28日現在
資産の部		
流動資産	6,375,864	5,394,068
固定資産	39,378,850	37,861,519
有形固定資産	28,543,526	27,496,799
無形固定資産	2,712,369	2,621,246
投資その他の資産	8,122,954	7,743,473
資産合計	45,754,714	43,255,587
負債の部		
流動負債	13,608,679	11,887,524
固定負債	10,465,250	8,709,409
負債合計	24,073,930	20,596,934
純資産の部		
株主資本	21,753,182	22,723,246
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,750
利益剰余金	12,747,558	13,739,231
自己株式	△ 39,376	△ 61,236
その他の包括利益累計額	△ 119,820	△ 96,073
その他有価証券評価差額金	41,886	42,995
退職給付に係る調整累計額	△ 161,707	△ 139,068
非支配株主持分	47,422	31,480
純資産合計	21,680,784	22,658,653
負債純資産合計	45,754,714	43,255,587

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2020年3月1日から 2021年2月28日まで	2021年3月1日から 2022年2月28日まで
売上高	66,385,912	64,039,070
売上原価	49,568,157	47,684,705
売上総利益	16,817,754	16,354,365
営業収入	3,071,270	3,087,981
営業総利益	19,889,025	19,442,346
販売費及び一般管理費	17,593,347	17,294,694
営業利益	2,295,677	2,147,652
営業外収益	192,757	387,812
営業外費用	103,284	78,905
経常利益	2,385,150	2,456,559
特別利益	—	59,939
特別損失	886,661	916,165
税金等調整前当期純利益	1,498,488	1,600,333
法人税、住民税及び事業税	643,815	739,648
法人税等調整額	50,887	△ 200,401
当期純利益	803,785	1,061,086
非支配株主に帰属する当期純利益	5,578	5,891
親会社株主に帰属する当期純利益	798,206	1,055,194

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2020年3月1日から 2021年2月28日まで	2021年3月1日から 2022年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,365,938	4,159,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 508,816	△ 1,440,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,624,458	△ 3,206,143
現金及び現金同等物の増減額	232,663	△ 487,305
現金及び現金同等物の期首残高	808,589	1,041,253
現金及び現金同等物の期末残高	1,041,253	553,948

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表（要約）

■ 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	2021年2月28日現在	2022年2月28日現在
資産の部		
流動資産	5,728,590	4,923,132
固定資産	38,746,491	37,328,807
有形固定資産	27,854,793	26,891,299
無形固定資産	2,701,499	2,612,988
投資その他の資産	8,190,197	7,824,519
資産合計	44,475,082	42,251,939
負債の部		
流動負債	13,899,492	12,495,270
固定負債	10,228,264	8,513,419
負債合計	24,127,757	21,008,689
純資産の部		
株主資本	20,313,352	21,209,297
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	11,307,729	12,225,534
自己株式	△ 39,376	△ 61,236
評価・換算差額等	33,972	33,952
その他有価証券評価差額金	33,972	33,952
純資産合計	20,347,324	21,243,249
負債純資産合計	44,475,082	42,251,939

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書

(単位:千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	2020年3月1日から 2021年2月28日まで	2021年3月1日から 2022年2月28日まで
売上高	61,390,897	59,173,464
売上原価	48,021,744	46,208,973
売上総利益	13,369,153	12,964,490
営業収入	3,076,684	3,091,894
営業総利益	16,445,837	16,056,385
販売費及び一般管理費	14,366,114	14,174,667
営業利益	2,079,723	1,881,717
営業外収益	209,528	421,575
営業外費用	109,795	86,181
経常利益	2,179,456	2,217,111
特別利益	—	59,939
特別損失	884,904	886,938
税引前当期純利益	1,294,551	1,390,111
法人税、住民税及び事業税	550,035	594,198
法人税等調整額	40,802	△ 185,414
当期純利益	703,713	981,327

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要/役員/株式の状況

■ 会社概要

2022年2月28日現在

商号	株式会社天満屋ストア
設立	1969年4月1日
資本金	3,697,500,000円
事業内容	食料品、雑貨、衣料品の小売業 (チェーンストア)
本店・本部	岡山市北区岡町13番16号 電話 (086)232-7265
店舗数	51店
従業員数	1,333名(うちパートタイマー等957名)

■ 役員

2022年5月26日現在

代表取締役会長	木住 勝 美
代表取締役社長	野 口 重 明
専務取締役	小 坂 章 壽
取締役	國 府 慎 一 郎
取締役	武 本 俊 夫
取締役	中 村 哲 士
取締役	平 井 由 美 子
取締役	山 本 愛 子
常勤監査役	羽 賀 之 雄
監査役	楠 田 教 夫
監査役	井 手 敬 一 朗

取締役武本俊夫、中村哲士、平井由美子、山本愛子の4氏は、社外取締役であります。

監査役楠田教夫、井手敬一朗の両氏は、社外監査役であります。

取締役武本俊夫、山本愛子の両氏は、東京証券取引所の定めに基づき、同取引所に届け出た独立役員であります。

■ 株式の状況

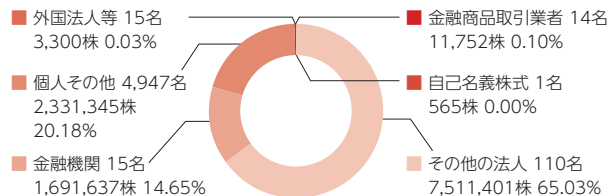
2022年2月28日現在

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,550,000株
株主数	5,102名

大株主の状況

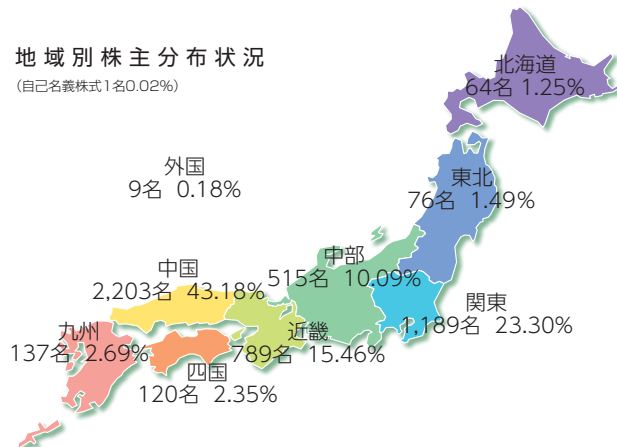
株主名	持株数	持株比率
丸田産業株式会社	2,766,000株	23.95%
株式会社イトーヨーカ堂	2,310,000	20.00
株式会社天満屋	1,474,400	12.77
天満屋ストア共栄会	876,900	7.59
株式会社中国銀行	376,800	3.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	369,200	3.20
天満屋ストア共和会	309,300	2.68
三井住友信託銀行株式会社	184,000	1.59
みずほ信託銀行株式会社	179,000	1.55
三菱食品株式会社	162,500	1.41

所有者別株式分布状況



地域別株主分布状況

(自己名義株式1名0.02%)



株主メモ等

■ 株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 5月

基準日
定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日

そのほか必要あるときは、あらかじめ
公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先
電話照会先

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031
受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)

インターネット
ホームページURL

[https://www.smtb.jp/
personal/procedure/agency/](https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/)

よくあるご質問 (FAQ)

[https://faq-agency.smtb.jp/
?site_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社
ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記の電話照会先まで
ご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よく
あるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されて
いなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀
行株式会社(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別
口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照
会先をお願いいたします。

公告方法

電子公告とし、インターネット上の当社
ウェブサイトに掲載いたします。

<http://www.tenmaya-store.co.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由に
よって電子公告による公告ができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所

東京証券取引所 スタンダード市場

株主ご優待制度

毎年8月31日および2月末日の100株以上ご所有の株主様に対し、「天満屋ギフトカード」もしくは「VJAギフトカード」を、次のとおり年2回贈呈いたします。

1回当たりの贈呈基準

ご所有株式数	天満屋ギフトカード	VJAギフトカード
100株～499株	1枚 (1,000円相当)	3枚 (3,000円相当)
500株～999株	1枚 (2,000円相当)	
1,000株～1,999株	1枚 (3,000円相当)	
2,000株～2,999株	1枚 (4,000円相当)	
3,000株～3,999株	1枚 (5,000円相当)	
4,000株～4,999株	1枚 (7,000円相当)	
5,000株以上	1枚 (10,000円相当)	

使用方法などの詳しい内容は、当社ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.tenmaya-store.co.jp/company/ir/>



天満屋ギフトカード



VJAギフトカード